

「地球温暖化や気候変動について学ぼう！」開催しました

熊本市を含む熊本連携中枢都市圏※では、令和 6 年度から令和 7 年度にかけて「熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の第 2 次計画の策定を行っています。

こどもたちの考えや意見を次期計画の参考とさせていただくため、地球温暖化や気候変動について知り・考えることをテーマに、ワークショップを開催しました。

【開催概要】

実施日時：令和 7 年（2025 年）7 月 9 日・16 日

実施場所：出水中学校

対象者：1 学年（8 クラス・249 人）



地球温暖化や気候変動について知る！

ワークショップ前に実施した出前授業では、資料や環境省の動画を使って、「地球温暖化のメカニズム」や「地球温暖化の現状」、「熊本市の地球温暖化対策の取組」について学びました。



地球温暖化や気候変動について考える！

ワークショップでは、「地球温暖化や気候変動が私たちの暮らしに及ぼす影響やその対策」について調べた結果を発表したほか、「未来の熊本市がどのようなまちになってほしいか」についてグループごとに話し合い、出された意見を発表しました。

日頃から省エネや節水はできている？

毎日の生活の中で行っている省エネや節水について振り返りました。



ワークショップに参加したこどもたちの多くは、「冷蔵庫は必要なものを取り出したらずぐに閉めている」「エアコンをつけるときは、窓やカーテンをできるだけ閉めている」などの行動ができていることが分かりました。

家庭や学校でできる省エネや節水は何？

みんなが取り組める省エネや節水の活動について話し合いました。



こどもたちからは、「長く使えるものを選んで買う」「トイレの大小レバーを正しく使い分ける」「服装を工夫する（涼しい格好をする）」「マイボトルやマイ箸を持ち歩く」などの意見が出されました。

地球温暖化や気候変動の影響は？

私たちの生活に及ぼす影響とその対策について考えました。



こどもたちからは、「自然災害が発生しやすくなるため、ハザードマップの確認や家具の固定などをする」「食料の危機のリスクがあるため、持続可能な農業の推進、食品ロス、環境に配慮した農林水産物の食品を選択する」などの意見が出ました。

2050 年の熊本市はどんなまち？

地球温暖化対策に取り組むことで、どのような熊本市になって欲しいかを考えました。

こどもたちからは、「リサイクルのように未来へどんどんつなげるまち」「1 人 1 人が資源やエネルギーを大切にするまち」「みんなが楽しく省エネして、熊本のみんなが安心・安全・笑顔で暮らせる」「緑が多く、大都市と自然の両方を楽しめる都市」などの意見が出されました。

※熊本連携中枢都市圏

人口減少・少子高齢社会にあっても、地域を活性化し経済を持続可能なものとし、住民が安心して快適に暮らしていけるよう中枢都市である熊本市と近隣市町村が連携して様々な取り組みを実施するものです。現在 24 市町村がさまざまな分野で連携し、取り組みを進めています。次の地球温暖化対策実行計画は、荒尾市を除く 23 市町村で策定します。（荒尾市は独自で計画を策定済）